

甲南高生 三反園知事と活発意見



三反園訓知事と意見交換する甲南高校の生徒
＝9日、鹿児島市の甲南高校

観光プラン提示、原発避難策を要望

鹿児島県の三反園訓知事と高校生が語り合う「知事と語り合う未来

(あす)の鹿児島」が9日、鹿児島市の県立甲南高校であった。鹿児島を大切に、将来を担う人材を育成しようとして初めて開かれた。生徒ら約200人が参加し、代表3組が観光や防災、待機児童についての研究を発表、活発に意見を交わした。

1年生15人は台湾研修の経験から、県のPR動画を制作し、観光

施策について提案。神社でのみこ体験などツアープランを示し、「台湾でもトップセールスをしてほしい」と求めた。三反園知事は「ぜひ台湾でPRしたい。この発表も参考にしたい」と語った。

祖父母が薩摩川内市に住むという女子生徒は、川内原発事故が発生した場合の高齢者の避難対策について要望。「祖父母は鹿児島市まで避難するが、車で1時間以上かかる上、脚も悪い。高齢者の避難場所を考えてほ

しい」と伝えた。三反園知事は「避難訓練もしたばかり。見直すべきところはしっかり見直したい」と答えた。

2年生見功太郎君は「行政のトップと語る貴重な経験ができ、楽しかった。高校生の発想を、ぜひ政治に役立ててほしい」と話した。県教育委員会は来年度以降も続けたい方針。

(上山智子)